

「創造の縁を結ぶ」

マンガ地蔵が建立されました@金剛院

トキワ荘のあった街・「椎名町駅」から徒歩0分、500年の歴史を誇る金剛院に「マンガ地蔵」が建立されました。マンガ地蔵は、『漫画の原点のまち』を伝えながら、さまざまなクリエイティブの領域で活躍される方々と、マンガ・アート・文化・歴史・地域の活性化を進めるため、点と点が線となり面になる「縁から円」につながることを象徴しています。

光背がGペンになっています。

「チエの実クン」という、思いの如く叶う、宝物の玉（如意宝珠）を持っています。

錫条の代わりにペンを持っています。

衣の柄は、漫画のコマになっています。吹き出しや擬音も…

このマンガ地蔵は、創発としまの小林俊史さん監修のもと、トキワ荘協働プロジェクトメンバーの一乃瀬光太郎さんと齊藤基貴さんにデザインして頂いたもので、1952年から1982年にかけて存在した手塚治虫画伯ら著名な漫画家が居住していたトキワ荘の方角を見つめています。

「なで仏」としてマンガ地蔵に向い、創造の力を授かる縁結びを御祈願ください。

お地蔵様のお顔は、微笑みの顔で少し右側を向いて「思惟」のための見返り顔をしています。

これは・・・

- ・自分よりおくれる者たちを待つ姿勢
- ・自分自身の位置をかえりみる姿勢
- ・愛や情けをかける姿勢
- ・思いやり深く周囲をみつめる姿勢
- ・衆生とともに正しく前へ進むためのリーダーの把握のためのふりむき

という意味があり、どこからでもお参りができる形になっています。

平成27年3月吉日 建立
金剛院 第三十三世利弘代